

## 普及活動情勢報告（令和6年8月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 室戸市で地域計画策定座談会が始まる



地図を見ながら現況を話し合う代表者ら

室戸市の産業振興課と農業委員会は、7月から地域計画策定に向けた座談会を開始しました。7月19日には吉良川地区の2集落を対象に開催し、地元代表者7人を交えて、農地の利用状況の聞き取りや今後の利用意向などを話し合いました。

農業改良普及課室戸支所は、情報収集や、課題解決に向けた事業や他地区の事例などを紹介しました。

この2集落では、特定の担い手によるサツマイモや小夏・ポンカンなど柑橘類の栽培面積が拡大しており、ドローン機や草刈機などのスマート農機の導入が検討されています。

室戸支所は、年度内までに全6地区の計画策定に向けて市の活動を支援します。

### もっと収量・所得のアップを目指しませんか～中芸オクラ目慣らし会～



オクラの果形を念入りに目慣らしする普及指導員、JA職員、生産者ら

7月29日、JA高知県中芸オクラ部会では中芸集出荷場で目慣らし会を開催し、生産者16人が参加しました。

農業改良普及課は、近年普及が進む新品種‘ジュピター’の生育特性の情報提供や今後の栽培管理の注意点等を指導しました。その後、SAWACHIについて画面を見せながら紹介すると、すでに加入している生産者から「自分の出荷量が確認できていい」といった意見が出ました。さらに「オクラで稼ごうプロジェクト」の主旨を説明し、9名から今年度目標の出荷量や所得を聞き取ることができました。

今後は目標値をもとに、個々の生産者の栽培意欲を高め、収量・所得アップにつながるよう指導していきます。

### 安芸市の農福連携を知ってもらうために～農福連携高知県サミットinあき～



サミットの様子

8月1日、安芸市やJA高知県、安芸福祉保健所、農業振興センター等で構成される安芸市農福連携研究会主催で安芸市の農福連携の取り組みを周知するために、農福連携高知県サミットを開催しました。

当日は市内外から福祉関係者や農家等の70名以上の参加があり、福祉と農林業等との連携について参加者の知識を深めることができました。農業改良普及課は研究会の取り組み概要の説明を担い、サミット運営を支援しました。

今後も農福連携の横展開が図られるよう、農業改良普及課は関係機関と一緒に支援していきます。

## 農業改良普及課をもっと身近に！ ～赤野集出荷場女性部総会及び研修会～



SAWACHIの活用方法を紹介する普及指導員

8月2日、JA高知県安芸地区赤野集出荷場女性部は同集出荷場で総会及び農業改良普及課の取組を学ぶ研修会を開催し、部会員22名が参加しました。

研修会では、農業改良普及課から栽培技術支援や病虫害予察調査等、具体も活動内容やSAWACHIの活用方法を紹介しました。

参加者からは「農業普及課のことがよく知れて良かった、これからはもっと気軽に相談できそう」「SAWACHIは環境測定・制御装置を導入しなくても加入できることがわかった、今度、SAWACHI導入・スマホ操作勉強会を開いてもらいたい」等、意欲的な声が聞かれました。

今後も農業改良普及課は、女性農業者の経営意欲の向上につながる情報発信や研修会開催を支援していきます。

## 就農に向けた研修拠点始動！ ～東部研修拠点入校式～



東部研修拠点入校式の様子

8月1日、株式会社アグリード土佐あきは、安芸市にて座学から現地実習まで一貫した研修を実施する研修拠点の入校式を開催しました。入校式には、新規就農を目指して8月から研修を開始する子育て世代を含む20代、30代の2名が参加しました。

農業改良普及課は、研修拠点始動に向けたカリキュラムの作成支援を行うとともに、入校式のオリエンテーションにて、資料説明や注意事項の説明など入校式の開催支援を行いました。

今後も農業改良普及課は、関係機関と連携して研修拠点の運営を支援し、研修内容、就農支援体制の充実に向け取り組んでいきます。

## 未来を語る経営者の創出に向けて ～安芸虎経営塾～



安芸虎経営塾の様子

8月6日、安芸市にて経営者の育成と成長を目的に第7回安芸虎経営塾が開催され、青年農業士等14名が参加しました。

農業改良普及課は、「安芸農業振興センターの経営支援の取組」について情報提供しました。

参加者からは「県の取組、振興センターの取組について知ることができて良かった」「数字の分析など、一人で理解することが難しい分野については振興センターを頼っていききたい」との声が聞かれました。

今後も農業改良普及課は、機会を捉えて経営支援の取組について情報発信するとともに、担い手の強化・育成に取り組んでいきます。